

日本セキュリティ・マネジメント学会

入会のご案内



日本セキュリティ・マネジメント学会

1. ご入会のおすすめ

高度情報社会とセキュリティマネジメント

日本セキュリティ・マネジメント学会は、1986年5月、情報システムのセキュリティ全般に関する学際的、業際的な調査研究を実施し、より健全な高度情報社会の構築に貢献することを目的に設立されました。以来、セキュリティに関連する分野の諸問題について、大会、講演会、学会誌、機関紙および研究会活動を通じ、理論的かつ実践的な検討を行ってまいりました。

高まるセキュリティマネジメント高度化の要請

高度情報社会の実現に向けて、セキュリティマネジメントにおいても理論と実践面の両面から高度化が求められています。政府は、情報セキュリティ総合戦略を掲げ、IT戦略本部に、「情報セキュリティ政策会議」を設置し、政府全体の情報セキュリティ対策の統一的・横断的な強化体制整備として内閣官房に「国家情報セキュリティセンター」の設置を決め、政府・自治体を中心とする公的部門での情報セキュリティの確保を精力的に進めています。民間企業もまた、個人情報漏洩事件の頻発や個人情報保護法の施行をうけて、あるいは、不正競争防止法の改正や米国企業改革法などの影響もあり、情報セキュリティ対策に本格的に取り組み始めました。経営者にもこれからの時代、情報セキュリティマネジメントなくして事業の発展は難しいことが理解されてきたといえるでしょう。

しかし、このような政府や企業の取り組みが具体的な成果をあげるには、まだ学問的に解明しなければならない研究課題は数多く残されています。

学際的な取り組みの重要性

セキュリティマネジメントの高度化には、工学、理学、法学、社会学、経営学、倫理学、などさまざまな学問分野にまたがる数多くの研究課題を学際的に解決していかなければなりません。企業や団体が抱える情報セキュリティマネジメントの各種課題を解明しその解決策を提供する応用研究の更なる発展には、その基礎となる学問分野の理論研究の進展がなければなりません。

学際的な取り組みを強化するには、その中核となり幅広い分野に影響を与えるセキュリティマネジメントの統一的な基礎理論を打ち立てることが今求められているといえるでしょう。この基礎理論は、各学問分野に明確な研究課題を投げかけることとなり、関連する学問分野の先端的研究との相互作用でまさにセキュリティマネジメントの理論研究、応用研究が学際的に発展していくことになるでしょう。

当学会の役割と使命

日本セキュリティ・マネジメント学会の使命とは、学際と業際の両面からセキュリティマネジメントの研究を加速し、その研究成果を高度情報社会の発展に生かして行くことに他なりません。

学際面の中心たる統一基礎理論への求心力と、業際面の

核となる使命感の共有とを機軸に、多彩な研究者、実務家が集い、互いの専門性を尊重しつつ、刺激しあい、新たな理論や方法論を発展させる場として、社会に貢献して行くものであります。

どうか意義ある学会活動をご理解いただき、ご入会くださるよう、心よりおすすめいたします。

2. 学会の活動について

● 目的と事業

日本セキュリティ・マネジメント学会定款（抄）

・ 目的および事業

（目的）

本会は、コンピュータとコミュニケーションを主体としたシステムのセキュリティ全般に関する学際的、業際的な研究および調査の実施ならびに研究者相互の協力を促進し、もってより健全な高度情報社会の構築に貢献することを目的とする。

（事業）

本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

1. システムのセキュリティマネジメントに関する学際的、業際的な研究および調査
2. 学術講演会、研究発表会ならびに研究会等の主催および後援
3. 機関誌その他図書の刊行
4. 国内および国外の関連学協会等との連絡および協力
5. その他、目的を達成するために必要な事業

主な研究対象分野

・ 具体例

(1) セキュリティマネジメント施策研究

ISMS(情報セキュリティ管理システム)
リスクマネジメント、リスクコミュニケーション
物理的セキュリティ対策
セキュリティポリシー及び人的管理
システム監査、情報セキュリティ監査
個人情報保護施策

(2) セキュリティ関連制度研究

プライバシー及び個人情報保護に関する法制度
ソフトウェア著作権保護の法制度
コンピュータ犯罪・悪用に対する法制度
情報及び情報セキュリティ保険制度

(3) セキュリティ技術研究

インターネット及びネットワーク
オープンシステム
アクセスコントロール
暗号システム

(4) 企業活動におけるリスク対応の研究

業務継続計画及び危機対応計画
セキュリティ評価基準とリスク分析

製造物責任リスク
環境リスク

挙げるために、学際的総合科学としての情報セキュリティシンポジウムを開催する。

(5) その他、本学会目的を達成するために必要な事業

主な事業計画

(1) 研究会(分科会)の開催

必要に応じて研究会を開催する。

本学会は、研究会活動を学会活動の主要な柱としており現在下記の9研究会を定例的に開催しております。

コーポレート・ガバナンス研究会
個人情報保護研究会
先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会
環境マネジメント研究会
関西支部研究会
セキュリティ法と経営研究会
危機管理研究会
IT統制研究会
ITリスク学研究会
情報セキュリティ会計

・参加申込や照会は学会 Web (<http://www.jssm.net>) に記載の各研究会の「幹事」宛に電子メール等をお願い致します。

・研究会の運営費用は学会予算から手当されておりますので、個別の参加費は原則としてかかりません。

・各研究会の開催日は原則として重複しませんので、複数の研究会に参加頂けます。

・研究会では、学会員による調査研究や外部の専門家のレクチャー等に基づき、参加者による討論を行って理解を深め、各位に役立つよう運営いたします。一流の講演会レベルから皆様のお恵拝借レベルまで、多彩な研究内容となります。

・正会員・学生会員はもとより、賛助会員の会社・団体の方はどなたでも各研究会に随時・随意に参加できます。ただし、資料準備の都合上、出欠の確認をさせて頂く場合があります。

・研究会参加の会員は、研究論文の発表および論文の学会誌掲載に当たり優先度が上がります。学会誌掲載論文が本人の学術上の業績となるのはご承知の通りです。

(2) 学会機関誌、その他図書の刊行

年数回程度、学会の活動状況や研究対象分野に関する情報、学会員の論文、および調査研究報告等を掲載した機関誌を刊行する。

(3) 学術講演会、研究発表会等の主催および後援

セキュリティマネジメントに関する研究成果の社会的な普及および会員の啓蒙を図るために、学術講演会、研究発表会、各種行事等の開催および後援を行う。

(4) 学際的フォーラム等の主催及び後援

電子社会を安全に構築するための情報セキュリティを、各専門領域の研究を多角的視点から広く議論し、技術・管理運営・法制度などの協調により相乗的効果を

3. 会員の特典

1. 本会の学会誌に論文を投稿することができます。
2. 本会主催の学術講演会、研究会などに参加し、研究を発表することができます。
3. 本会の機関誌、論文集などが毎号無料で配布されます他に優先して本会発行の出版物の頒布を受けることができます。
4. 本会主催の各種行事に参加することができます。賛助会員の場合、所属の社員を参加また研究発表せしめることができます。

4. 会員資格

1. 正会員

正会員は、セキュリティマネジメントについて学識経験のある者、もしくはセキュリティマネジメントの研究、およびその実施に関心のある者で、正会員 2 名以上の推薦を受けた者。推薦者に心当たりのない場合は事務局にご相談ください。

2. 学生会員

学生会員は、セキュリティマネジメントの研究、およびその実施に関心のある大学院生、またはこれに準ずる学校の在大学生で、正会員 2 名以上の推薦を受けた者。

3. 賛助会員

賛助会員は、本会の目的、および事業を賛助する者で、役員(会長・副会長、常任理事、理事、監事)1 名以上の推薦を受けた法人、団体など。

5. 学会会費

会員種類	年会費	入会金
正会員	9,000 円	1,000 円
学生会員	3,000 円	500 円
賛助会員	1 口以上 (1 口 50,000 円)	不要

11 月以降に入会の正会員、学生会員には、入会時期に応じて初年度会費の割引があります。

6. 入会の手続き

上記会員資格のいずれかに該当し、入会を希望される方は、入会申込書に必要事項をご記入のうえ、次頁に示された申込先へご郵送ください。あるいは Web からダウンロードした申込書ファイルに必要事項を記入し、電子メールに添付して事務局 (office@jssm.net) へお送りいただいても結構です。

また、会員の種類により、上記の入会金、および年会費の合計額を、次頁に示された口座にお振り込みください。

振込受領書をもって、本学会の領収書に代えさせていただきますが、請求書、領収書が必要な場合には、その宛名ほかを事務局までお申し越してください。その他質疑あれば、事務局へご照会ください。

7. 入会申込先

日本セキュリティ・マネジメント学会 事務局
 〒160-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム
TEL 03-3371-5183
FAX 03-3371-5185
E-MAIL office@jssm.net
URL http://www.jssm.net

<入会金・会費振込口座>
 ● 郵便振替 00160-1-262809
 ● 三井住友銀行 神田支店 普通預金 2403456
 口座名 日本セキュリティ・マネジメント学会

8. 役職者一覧 (平成 24 年度 ~ 平成 25 年度)

役職	担当	氏名	勤務先	役職	担当	氏名	勤務先
会長		佐々木 良一	東京電機大学	理事	企画	西垣 正勝	静岡大学
副会長		飯塚 久夫	NEC ビッグロープ	〃	研究	花田 経子	新島学園短期大学
〃		大木 栄二郎	工学院大学	〃	国際	原岡 望	通訳案内士
〃		能勢 豊一	大阪工業大学	〃	研究	原田 要之助	情報セキュリティ大学院大学
常任理事	国際	浅井 達雄	中京学院大学	〃	国際	藤本 正代	富士ゼロックス
〃	◎国際	岡安 邦男	CTC	〃	企画	堀江 正之	日本大学
〃	◎Web	橘高 弘武	アーケン	〃	編集	朴 美娘	神奈川工科大学
〃	企画	小林 健	OSK	〃	編集	松浦 幹太	東京大学
〃	編集	椎原 正次	大阪工業大学	〃	編集	森本 祥一	専修大学
〃	編集	千葉 寛之	日立製作所	〃	Web	湯川 高志	長岡技術科学大学
〃	◎総務	長尾 慎一郎	新日本有限責任監査法人	〃	編集	渡辺 研司	名古屋工業大学
〃	◎企画	萩原 栄幸	萩原情報セキュリティコンサルティング	監事		平松 雄一	電子商取引安全技術研究組合
〃	総務	浜谷 卓美	凸版印刷	〃		桃井 義雄	桃井 IT 技術士事務所
〃	研究	湯浅 壘道	情報セキュリティ大学院大学	名誉会長		鶴澤 昌和	青山学院大学名誉教授
〃	◎研究	湯田 雅夫	獨協大学	〃		清水 汪	
〃	◎編集	吉浦 裕	電気通信大学	〃		辻井 重男	中央大学 研究開発機構
理事	研究	伊東 寛	ラック	顧問		一村 義夫	岡三証券
〃	国際	内田 順一	セコム	〃		今井 秀樹	中央大学
〃	総務	大内 功	グリーン&セーフティ鎌倉事務所	〃		大井 正浩	
〃	総務	岡田 政紀	個人事業主	〃		栗山 仙之助	大阪工業大学・摂南大学
〃	編集	川口 元	キャンマーケティングジャパン	〃			名誉教授
〃	国際	工藤 道治	日本アイ・ビー・エム	〃		黒川 恒雄	NPO 法人 愛と希望
〃	編集	小松 文子	情報処理推進機構	〃		多賀谷 一照	千葉大学
〃	企画	税所 哲郎	群馬大学	〃		田口 孝弘	朝日大学
〃	Web	佐々木 健美	情報セキュリティコンサルタント	〃		沼波 正	金融情報システムセンター
〃	企画	澤田 栄浩	三井物産セキュアテックソリューション	〃		横田 格	富山第一銀行
〃	総務	清水 恵子	公認会計士	〃		渡部 一元	ベイス大学
〃	研究	竹上 端一	日本コンベヤ				
〃	企画	力 利則	NEC フィールディング				
〃	編集	手塚 悟	東京工科大学	事務局		今市 紳一	新都心学術センター

(役職別五十音順)